

裸の太陽 (1958)

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 日本

色彩 B&W

初公開日 1958/10/01

【解説】

氷室和敏の原作を新藤兼人が脚色し家城巳代治が監督した青春映画。ベルリン国際映画祭で青少年向映画賞を受賞した。

機関士助手の木村と恋人のゆき子は、少ない給料から結婚資金を貯めていた。ある日、木村は前田から金を貸してほしいと頼まれ、貯金をすべて貸してしまう。木村とゆき子が歩いていると、前田がビアホールから出てくるところを見かけてしまい、金の使い道をめぐって木村と前田は大喧嘩。二人は警察に連行されてしまう。木村が寮に戻ると、河合富子がやってきてお礼を言った。前田の愛に気づかず結婚した富子だったが、その夫が胸の病気にかかっていることを知った前田が、その治療費を工面したというのだ。

【クレジット】

監督 家城巳代治

企画 本田延三郎

依田一郎

原作 氷室和敏

脚本 新藤兼人

撮影 宮島義勇

美術 北川弘

音楽 芥川也寸志

出演 江原真二郎

丘さとみ

中原ひとみ

仲代達矢 Tatsuya Nakadai

高原駿雄

山形勲

星美智子

岩崎加根子

東野英治郎